

費用について

保険適用

1. 一般不妊治療

一般不妊治療管理料（3ヶ月に1回）：900円

人工授精治療

5,460円

2. 生殖補助医療

生殖補助医療管理費用：900円

項目	費用
排卵誘発剤（個人差があります。費用は平均値です）	約35,000円～64,000円
超音波・ホルモン検査（1周期に3回程度）	約3,370～10,110円

3. 採卵

採卵基本費用（採卵数が0でも発生します）：9,600円

採卵数に応じて下記が加算されます。

* 採卵数：治療に用いることができる成熟卵の数 未熟・変性卵は含まず

採卵数 1個	7200円
採卵数 2～5個	10,800円
採卵数 6～9個	16,500円
採卵数 10個以上	21,600円

麻酔の場合は、静脈麻酔：810円、局所麻酔：156円が加算されます。

4. 受精法

体外受精（IVF）または顕微授精（ICSI）の2種類の方法があります。

項目	費用
体外受精（個数にかかわらず）	12,600円
顕微授精実地数 1個	14,400円
顕微授精実地数 2～5個	20,400円
顕微授精実地数 6～9個	30,000円
顕微授精実地数 10個以上	38,400円

体外受精・顕微授精の両方の実地の場合（Split法）は、顕微授精代+体外受精代の半分（6,300円）

5. 受精卵培養（1～3日目までの初期胚培養）

採卵翌日から、受精した（2PN・1PN・0PN）数に応じて加算

項目	費用
受精卵数 1個	13,500円
受精卵数 2～5個	18,000円
受精卵数 6～9個	25,200円
受精卵数 10個以上	31,500円

先進医療：タイムラプス培養加算（13,900円）

6. 胚盤胞加算（3～7日目までの後期胚培養）

4日目以降の継続培養胚数に応じて加算

項目	費用
胚培養継続数 1個	4,500円
胚培養継続数 2～5個	6,000円
胚培養継続数 6～9個	7,500円
胚培養継続数 10個以上	9,000円

7. 胚凍結保存

項目	費用
凍結胚数 1個	15,000円
凍結胚数 2～5個	21,000円
凍結胚数 6～9個	30,600円
凍結胚数 10個以上	39,000円

8. 胚移植

項目	費用
新鮮胚移植	22,500円
融解胚移植	36,000円

AHA（アシステッドハッチング）：3,000円
ヒアルロン酸添加培養液：3,000円

* 表に記載している金額は、保険適用後の金額です。

助成金制度

都道府県や指定都市、中核市の助成制度の他に、自治体が独自の助成制度を設けている場合があります。まずはお住いの役所へお問い合わせください。

先進医療

先進医療とは厚生労働省が定める高度な医療技術の内、医療保険の対象になっていないものです。先進医療に認定された医療に対し、助成金の給付を受けることができます。**助成金制度にも、年齢や回数、金額に制限があります。助成金の申請先は住民票のある自治体です。**詳しくはお住いの役所にお問い合わせください。下記が当クリニックで提供している先進医療になります。

項目	費用	* 補助金差引後の自己負担額
タイムラプス培養	30,000円	13,900円
生理学的精子選択術（LensHooke CA0）	20,000円	6,000円
PICSI	24,000円	7,200円
子宮内フローラ検査	51,000円	20,200円
EMA/ALICE検査	53,840円	16,152円
TRIO検査	120,000円	36,000円
ERA検査	96,000円	28,800円

* 補助金差引後の自己負担額は那覇市・沖縄県における金額になります。

高額療養費制度

患者さまが自己負担した1ヵ月間（1日から末日まで）の医療費が、一定の上限額を超えた場合に、超過分の金額が払い戻しされる制度です。高額療養費の支給を受けるには、支給申請の手続きを行う必要があります。手続きは、ご自身が加入している公的医療保険に高額療養費の支給申請を提出または郵送することで行います。

適用区分		ひと月ごとの上限額
ア	年収1160万～ (標準報酬月額83万以上)	252,600円 + (総医療費 ^{※1} -842,000円) ×0.01
イ	年収770万～1160万 (標準報酬月額53万～79万円)	167,400円 + (総医療費 ^{※1} -558,000円) ×0.01
ウ	年収370万～770万 (標準報酬月額28万～50万円)	80,100円 + (総医療費 ^{※1} -267,000円) ×0.01
エ	年収370万以下 (標準報酬月額26万円以下)	約57,600円
オ	住民税の非課税者など	約35,400円

*1：総医療費＝保険適用される診察費用の総額（10割）

* その月内であれば、当クリニック以外の他の医療機関の保険診療分も合算できます。

* お支払い後に限度額認定書を提示いただいても当クリニックは使用できません。

各自の申請をお願いしています。

* 生殖補助医療は数か月に及ぶ場合が多く、同じ治療でも支給対象外となる周期があります。

自費診療

1. 一般不妊治療

精液検査	2,970円
レンズフック検査	1,650円
人工授精治療	16,500円
抗フォスファジールエタノールアミンIgG	5,500円
抗フォスファジールエタノールアミンIgM	5,500円
抗CL β 2GPI複合抗体	4,400円
感染症（採血）HIV	2,200円
感染症（採血）HIV以外	9,455円

項目	費用
排卵誘発剤（個人差があります。費用は概算です）	約30,000円～100,000円
超音波・ホルモン検査/1回（1周期に3回程度）	約20,000円～30,000円

2. 採卵（刺激周期）

採卵実地回数で料金が異なります。

回数	費用
採卵 1回目	100,000円
採卵 2・3回目	80,000円
採卵 4・5回目	70,000円
採卵 6回目以上	60,000円

採卵しても卵が得られなかった場合、未熟卵のみ、変性卵のみの場合：30000円

3. 麻酔

静脈麻酔	20,000円
局所麻酔	5,000円

自費診療

4. 受精法

体外受精または顕微授精（ICSI）の2種類の方法があります。

項目	費用
体外受精（個数にかかわらず）	10,000円
顕微授精実地数 1～3個	40,000円
顕微授精実地数 4～12個	60,000円
顕微授精実地数 13個以上	70,000円

Split法（体外受精+顕微授精）の場合は、採卵数により料金が異なります。

採卵数～10個	30,000円
採卵数11～19個	50,000円
採卵数20個以上	70,000円

5. 受精卵培養

1～3日目まで	30,000円
4～7日目	50,000円

6. 胚凍結保存

凍結個数に応じて5000円/1個が下記料金に加算されます。

凍結個数が10本以上からは追加料金はかかりません。（料金最高100000円）

項目	費用
PN期胚（1日目）	30,000円
分割期胚（2～4日目）	40,000円
胚盤胞	50,000円

7. 胚移植

胚移植実施回数で料金が異なります。

項目	費用
胚移植 1～3回目まで	50,000円
胚移植 4回目以上	30,000円

8. オプション料金

項目	費用
卵子活性化処理（カルシウムイオノフォア）	10,000円
AHA（アシステッドハッチング）	20,000円
PICSI	24,000円
タイムラプス培養	30,000円

自費診療での自然周期採卵の場合は、

体外受精：50,000円、顕微授精：70,000円（培養代・AHA料金を含む）です。

凍結・胚移植は上記の料金が発生します。